

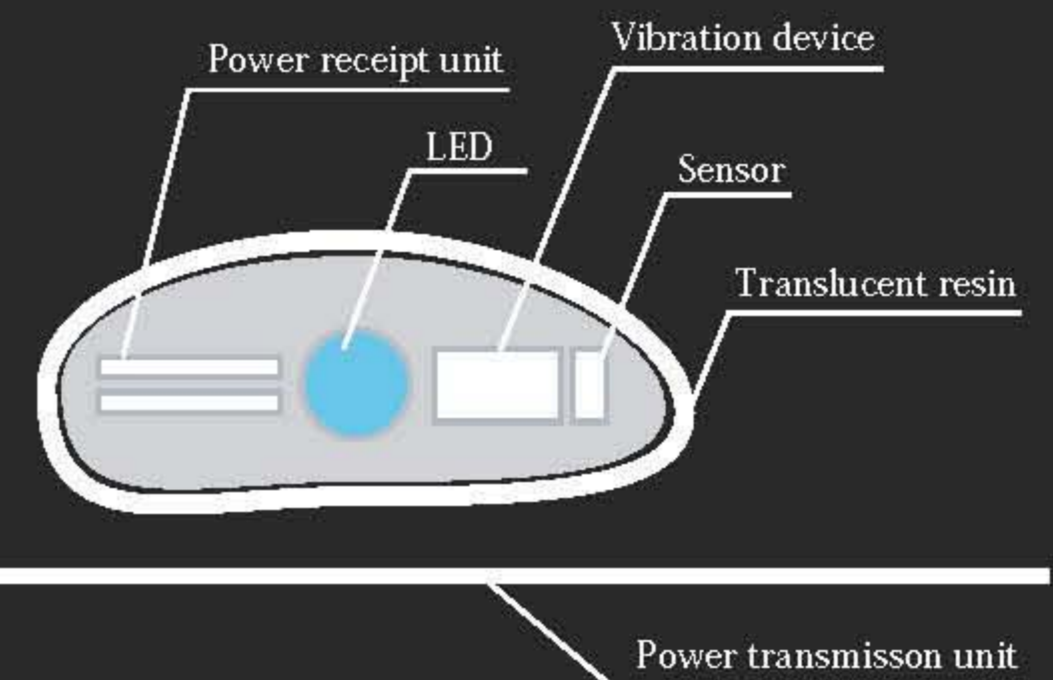
# 光波の石

静寂へ誘う光の石庭

## 光りの誘い

元来、日本庭園は四季折々の自然を鑑賞できる日本独自の空間であり、中でも「水」は欠くことのできない重要な要素です。枯山水のような水を用いない庭園様式では、小石や砂などにより水の波紋や流れを表現しています。そのように形作られた波紋や流れを眺め、人はそこに趣を感じてきました。

「光波の石」は、従来からの形作られた空間を眺めるという受動的な鑑賞の仕方に対し、人からの働きかけによって生じる光で「水」を表現します。人自身はその空間を構成する重要な要素となることで能動的な鑑賞へと誘われます。



## 光りの構造

「光波の石」は振動に反応し、自らが振動すると同時に、光りを発します。本体内部には、LED・振動センサー・振動装置の他に、非接触電力伝送の受電ユニットが内蔵されています。送電ユニットは、使用空間の真下に設置することで主電源の入/切を一箇所で行えます。敷き詰められた「光波の石」に、その一つを投げ入れると、まるで水に石を投げ入れたときの様に光りの波紋が広がります。その光りは、センサー自体のプログラミング次第で様々な展開が可能です。

## 光りの展開

石庭のような空間に加え、商業施設や宿泊施設などの空間構成の一部として利用することも考えられます。

例)

- ・人が歩く振動に反応（歩道・廊下・・・）
- ・液体による振動に反応（浴場・ロックアイス・・・）

